



学校だより 3月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

「一年間を振り返って」

学校長 副島江理子

令和2年度も最終月の3月を迎えました。1月から再び緊急事態宣言が出され、学校でも感染症予防に一層気をつかいながら、教育活動を行ってまいりました。

一年間を振り返りまず特筆すべきことは、子どもたちが健康に元気に過ごせたことです。再びの緊急事態宣言下でも欠席者はとても少なく、マスクをしていてもわかる笑顔で外遊びをしている姿は、例年以上にはつらつとしているように感じます。子どもたちがどれだけがんばって学校に通っているかが伝わってきます。そして、その陰には保護者の皆様の大きなサポートがあることをひしひしと感じます。

本当にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

この一年間、子どもたちは学校休業から始まり、学校再開後もマスクを常時つけた生活を強いられました。内容を制限された体育や音楽の授業、一言もしゃべらない給食、全校で一堂に集まることのできない毎日・・・

それでも、子どもたちは、不自由な学校生活への不満をこぼすのではなく、日々の生活の中にも楽しさを見つけて、仲間と共に過ごしてきました。子どものもつ「しなやかな強さ」や「プラス思考」を感じます。子どもたちの姿にこちらが励まされてきた一年間でした。

学校をリードする高学年は、日々の学習での工夫だけではなく、学校生活をよりよくするための委員会活動でも、新しい活動を考えて取り組んできました。そして、6年生は最後に自分自身と向き合い、卒業研究で「将来の自分」を考えました。5年生は、今までの取組をSDGsと関連付けて考え、来年度の学校生活につなげようとしています。

また、今年は、交流活動が大きく制限されたからこそ、子どもたちはアンテナを高くして、友だちや他の学年の姿から互いに学び合いました。4年生は日々の学校生活で培った自分と仲間の成長をしっかりと捉え、「10才を祝う会」で伝えました。3年生は、自分たちが育てあげた大豆を給食で食べてもらおうと考え、全校の児童に喜んでもらえるメニューを調べました。2年生は野菜の栽培を通して自分たちの成長も実感し、最後は一人ひとりが自分の成長を思い思いにまとめました。そして、1年生。iPadを片手に、学習のねらいに合わせて学校中を巡る頼もしい姿が見られます。入学直後の休業や上級生とのかかわりが少ない学校生活で心配しましたが、自分たちで何でもしようという積極性が育ったと感じています。

子どもたちは、突然降りかかった困難の中で、自分たちなりに知恵を出して、新しい活動を積極的に産み出そうとしてきました。今まで当たり前のようにできていたことができないことで、「切実感」が生まれ、それが「主体性」「創造性」にもつながっていったように思います。この経験は、子どもたちにとって、人生の大きな財産となると確信しています。

3月19日に6年生が卒業します。例年通りとはいきませんが、在校生一同、精いっぱい工夫を凝らして、心を込めて6年生を送ってくださることでしょう。

保護者・地域の皆様には、最後までご支援をよろしくお願い致します。